

④経営改善の取組

1. 令和 7 年度の取組

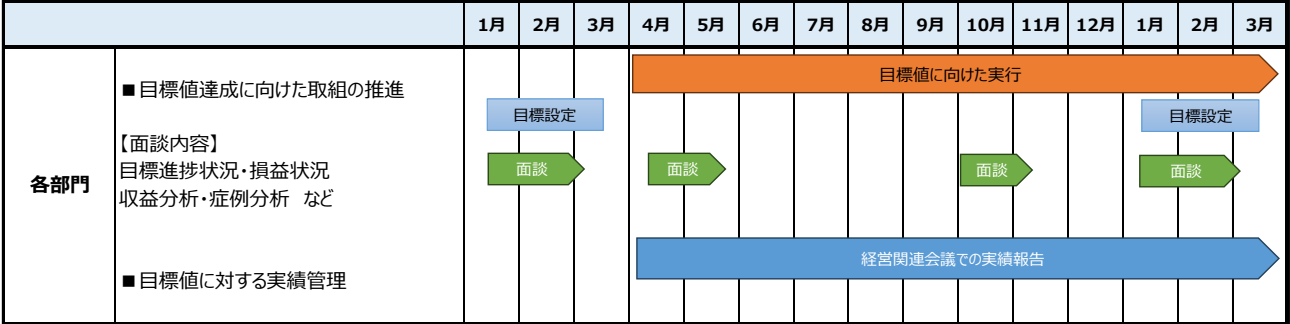
経営コンサルティングを活用し、病院経営の現状分析と課題整理を行うとともに、経営課題ごとに院内ワーキンググループを設置し、関係部署が連携して改善に取り組む実行体制を構築した。あわせて、診療科別損益分析、症例別損益分析及び医師の収益性分析により、経営課題を客観的なデータで把握し、具体的な改善施策や病院及び各部門の目標設定につなげた。

2. 令和 8 年度の取組

経営層による目標管理

病院及び各部門で設定した目標値の達成状況を経営関連会議で毎月報告

定期的に経営陣との面談を実施し、PDCA サイクルを回す



経営改善施策

取組	内容
ベッドコントロール運用の強化	・退院調整の役割変更（医師主導から看護師長主導へ変更） ・各診療科に病床マネジメント担当の医師を配置し、看護師長との連携を強化 ・病棟の稼働状況を踏まえた臨機応変な調整 ➡週末に集中していた退院患者が各曜日に分散し、週末の病床利用率が向上
地域連携の強化	・医療機関訪問の専従者を配置し体制を強化 ・当院への紹介実績データを可視化し、効率的な訪問へつなげる ・医療機関向けアンケートの実施（年 1 回） ・医療機関訪問から得られた意見・要望を院内へ共有 実績：令和 8 年 5 月 20 日～7 月 10 日で 25 医療機関

取組	内容
診療科手術枠の定期的な見直し	・診療科別の手術件数や手術室占有率の月次管理 ・実績を基に半年ごとに診療科手術枠の見直しを検討 ➡令和 7 年度手術件数:6,452 件（前年比 + 283 件）
病床利用率の通知（全医師・看護師長対象）	・各病棟・診療科ごとに予定入院・退院を加味した病床利用を通知 ➡ベッドコントロールの効率化を図る
医療技術部門の収益性向上	・リハビリや栄養・薬剤など、医療技術部門の加算及び指導料等の算定増 ➡診療単価の増 ➡ 収益性の向上
GCU（新生児治療回復室）病棟の再編	・GCU の一部病床を「小児入院医療管理料 1」の算定病床へ再編 ➡入院の長期化による特定入院料の算定切れ（収益減）の問題を解決 ➡加算病床の収益改善を図る（年間約 1 億円の増収見込） ※施設基準及びハード・ソフト面整備の上、再編に着手予定
組織、人材開発支援（幹部層・管理者向け）	・経営改善に関わる各部門の課題や障壁（悩み）の解消を支援し、改善活動を円滑に推進できる組織風土を醸成する ・各部門リーダーの意識・行動変革を促進し、チームの求心力と協働意識を高めることで、経営改善の実効性向上を図る
看護部の業務改善	・令和 7 年度はモデル病棟（4 病棟）で業務改善の試行に取り組み、成果を看護部内で共有 ➡物品管理や導線の改善で動きの無駄を減らし時間外勤務を削減 ・令和 8 年度は他病棟へ改善の取組を拡大させるとともに、外来部門の業務改善を実施(業務フローの見直し、ペーパーレス化など)

3. 令和 8 年度の目標

項目		目標値	前年比
入院	病床稼働率	90.0%	+3.2pt
	新入院患者数	16,156人	+694人
	中央手術室 手術件数	6,891件	+439件
	DPCⅡ期超割合	29.0%	▲0.1pt

項目		目標値	前年比
外来	外来患者数	191,900人	+1,330人
	初診患者数	24,280人	+1,712人
	初診患者割合	12.7%	+0.9pt